Trend Micro Apex Oneをご利用のお客様

トレンドマイクロ社のApex Oneがインストールされているコンピュータで、TDSアプリのセットアップ時や起動時、または編集中に以下のようなエラーが発生し正常に動作しない場合がございます。

(必ずしもこのようなメッセージとは限りません)

へ 実行しようとしているプロ ます。プログラム作成元 す。このメッセージが表	25ラム」はランサムウェアなど未知の脅威の可能性があり が信頼できる場合を除き、実行しないことをお勧めしま 示された場合の対処方法は、 <u>こちら</u> をご確認ください。	実行しようとしているプロ ます。プログラム作成元 す。このメッセージが表	2グラムはランサムウェアなど未知の脅威の可能性があり が信頼できる場合を除き、実行しないことをお勧めしま 示された場合の対処方法は、 <u>こちら</u> をご確認ください。	
注意:残り時間内に許す	可をしない場合、プログラムは自動的にプロックされます。	注意:残り時間内に許可	Tをしない場合、ブログラムは自動的にブロックされます。	
プログラム:	SETUP.EXE	プログラム:	ESTM5EXA.EXE	
パス:	C:¥Users¥watanabe¥Downloads¥estm5tds_50	パス:	C:¥TDS¥ESTM5TDS¥PROG¥	■ 計加 左注 1
理由:	新たなプログラムが検出されました	理由:	新たなプログラムが検出されました	刘処万法1 八
対象:	メールからのダウンロード	対象:	メールからのダウンロード	
タイムアウト:	21	タイムアウト:	17	
	今回のみ許可 今回のみブロック		今回のみ許可 今回のみブロック	

<u>пп</u>			
17- X	1 7- X	I5- X	
ReadDetast Error! Open() failed	CalcParentTotal() NodeNo not found!	WriteBlockに失敗しました。 BlockNo=3	▲ 対処方法 2 /
ОК	ОК	OK	

対処方法1

画面1

◆ セットアップ時の場合

TDSアプリケーションダウンロードサイトなどからダウンロードしたセットアップファイルを実行して 画面1 (左)が表示された場合は、ダウンロードしたZIPファイルの右クリックで [プロパティ]を開いて画面下部の「セキュリティ」内の「許可する」にチ

「ノロハティ」を開いて画面下部の「セキュリティ」内の「計可する」にナ ェックを付けて下さい。

estm5tds_5 04.zip	開く(O) 新しいウィンドウで開く(E)
	すべて展開(T) スタートメニューにどン留めする ビ 共有 プログラムから開く(H)
	アクセスを許可する(G) > 以前のバージョンの復元(V)
	送3(N) 切り取り(T) コピー(C)
	ショートカットの作成(S) 削除(D) - 名前の変更(M)-
	プロパティ(R)

	estm5tds_504.zip
ファイルの種類:	圧縮 (zip 形式) フォルター (.zip)
プログラム:	■ エクスプローラー 変更(C)
場所:	C:¥Users¥watanabe¥Downloads
サイズ:	5.25 MB (5,515,671 パイト)
ディスク上 のサイズ:	5.26 MB (5,517,312 パイト)
作成日時:	2023年1月17日、9:41:47
更新日時:	2023年1月17日、10:28:49
アクセス日時:	2023年1月17日、10:28:49
属性:] 読み取り実用(R). □ 厚しファイル(H)

◆ アプリ起動時の場合

インストールやリビジョンアップ後のアプリ起動時に **画面1**(右)のような画面が表示された場合はApex Oneのエージェント管理にて [挙動監視設定]の〔除外〕で承認済みプログラムにフルパスを登録します。

🥖 Trend Micro	o Apex	One™										
😌 ダッシュボード	診断	エージ	エント リ	コグ	アップデート	管理		プラグイン	ヘルプ			
エージェント管理												
エージェントツリーからドメインまたは	ロンドポイントを	「選択し、エージ	『ェントツリーの上!	こ表示される	タスクのうち1つを追	羅択してください。						
エンドポイントの検索 Q			詳細検索									
エージェントツリー表示 すべて表	.	~										
☆ステータス 🛛 ダスク 🔻	1000000000000000000000000000000000000	<u>■</u> ログ ▼	ミュージェン	トツリーの管	理 マ 🔂 エクス	マポート (オート)	к.10 Т		17071.005	0.170		
V 👸 T	FX1J/LJ	トホイント A	197771-5 190900K4500	24 vontamilie	IPPFUX	(守4)	#ጥ ' F	下×1.7%7增	接続状態	GOLD		
🗿 Tili järekee	PROBOC	🗟 ステータ)	ζ	-24/11/00	100.006.027.04	211	10	Talaphone	オンライン	1157-0-70-881-84		
		回 タスク 総計設定	•	検索設定			•					
			•	Web/ピュ	テーション設定		_					
		11-ジェ)	小ツリーの管理 ▶ -	機械学習	型検索設定							
			-1	不審接続	監視設定		_					
	1			デバイスコ	xxを 1ントロール設定		_					
				サンプルオ	送信							
				アップデー	トエージェント設定							
				確限とその ighn+t-	別他の設定		X				-	
				スパイウ	挙動監視語	安定						മ
				信頼済み	❶ 追加サービ	スが必要		7	承認済る	み登録の操作方	方法はここでは省略させていただきま	ます。
				設定のエ	1-1-	除外						-
				設定の月	除外							^
					ゴログラムオ	☆認またけ→に	1~7772	ミーナ ネのゴロ	バラムの字全:	たい(フを指定) ます 挙動彫想	1-11月前前1- オペイの通辺さみガログラムの実行が注意すれ オペイのサ	;
					ロックするブ	ログラムの実行	が阻止	されます。その作	也のApex One6	の機能は、引き続き承認済みづ	ログラムをチェックします。	
					プログラムは	のフルバスを入	カしてく	だきしょ: 🕕				
					C:¥TDS¥ES	TM5TDS¥PRO	ok≢Tren G¥ESTM	1d Micro#*.exe; \ 15EXA.EXE	,>¥Program ⊦ik	🧧 [見積]	Vの 場合	
					承認済	みリストに追加]	ブロックリ	ストに追加	C:¥TDS¥ES	STM5TDS¥PROG¥ESTM5EXA.EXE	
					承認済みプ	ログラム				-		
					名前	プログラ	ムのフル	いえ				
					ESTM5EX4	A.EXE C:¥TDS¥	EST M51	TDS¥PROG¥ES"	TM5EXA.EXE		<u></u>	
												~
					保存	キャンセ	zili					

上記は[見積] Vの例ですが、他のアプリでもこのようなメッセージが表示された場合には画面に表示されてい る パスとプログラム を連結したパス (C:¥TDS¥ESTM5TDS¥PROG¥ESTM5EXA.EXE) を承認済みリストに追 加して下さい。

\rm 新たなプログき	ラムが検出されました
実行しようとしているプロ ます。プログラム作成元 す。このメッセージが表:	25ラムはランサムウェアなど未知の脅威の可能性があり が信頼できる場合を除き、実行しないにとをお勧めしま 示された場合の対処方法は、 <u>こちら</u> をご確認ください。
注意: 残り時間内に許す	Tをしない場合、プログラムは自動的にブロックされます。
プログラム:	ESTM5EXA.EXE
パス:	C:¥TDS¥ESTM5TDS¥PROG¥
理由:	新たなプログラムが検出されました
対象:	メールからのダウンロード
タイムアウト:	17
	今回のみ許可 今回のみブロック
TREND Apex O	ne

間違いのないようにフルパスを入力して下さい。

▌ 対処方法 2

TDSアプリケーション起動中に 画面 2 が表示された場合は、Apex Oneのエージェント管理にてリアルタイム検索の除外リストに登録する必要があります。

♦ 確認事項

まずTDSアプリの [**ファイル**] メニュー内 [**パス設定**] で以下の赤枠部分を確認して下さい。赤枠内に設定さ れているパスを検索除外のリストに登録します。画面にないアプリの場合も同様に確認して下さい。

● [見積] Exa

パス設定		×
ーデータファイル用T データ(D): テキスト(T): 枠組み構成(F):	フォルダ C¥Users¥watanabe¥Documents¥Userデータ C¥Users¥watanabe¥Documents¥Userデータ C¥Users¥watanabe¥Documents¥Userデータ	
- 作業ファイル用フ 。 - 一時ファイル(E): 作業データ(W):	៖ルダ C:¥TDS¥ESTM4EXA¥TEMP C:¥TDS¥ESTM4EXA¥WORK	
マスタファイル — コードマスタ(C): 名称マスタ(N): 仕様マスタ(S): 単位マスタ(U): 備考マスタ(O): 細目マスタ(M):	C¥TDS¥NSUNMAST¥DATA¥CODEMAST.CDM C¥TDS¥NSUNMAST¥DATA¥NAMEMAST.NMM C¥TDS¥NSUNMAST¥DATA¥SPECMAST.SCM C¥TDS¥NSUNMAST¥DATA¥UNITMAST.MUT C¥TDS¥NSUNMAST¥DATA¥NOTEMAST.NTM C¥TDS¥NSUNMAST¥DATA¥DTASMAST.DTM	
	ОК	キャンセル

● [見積] V

パス設定		×
データファイル マスタファイル システム	ファイル	
システムパス(S) C¥TDS¥ESTM5TDS¥PROG		
作業ファイル用フォルダ(W) C:¥TDS¥ESTM5TDS¥WORK		
一時ファイル用フォルダ(T) C:¥TDS¥ESTM5TDS¥TEMP		
	ΟΚ	キャンカル
	UK	TVZ CIV

◎ [仕上]

ファイルのパス設定			×
ーデータファイル	C¥TDS¥DFSYSTDS¥DATA	参照	
-マスタファイル 一般用(L) 共有用(S)	C#TDS#DFSYSTDS#MAST	参照 参照	
明細変換ファ	イルー 「C#TDS¥DFSYSTDS¥TEXT	参照	
- 一時ファイル	C#TDS#DFSYSTDS#TEMP	参照	
-作業ファイル 編集用(W) 演算用(M)	C:#TDS¥DFSYSTDS¥WORK C:#TDS¥DFSYSTDS¥TOTAL	参照 参照	
	ОК	キャンセル	

◎ [外構]

ファイルのパス設定	×
データファイル C:¥TDS¥EXTRCTDS¥DATA	参照
- マスタファイル	
C#TDS#EXTROTDS#MAST	参照
- 明細変換ファイル 	参照
- 作業ファイル	
編集用(W) C¥TDS¥EXTRCTDS¥WORK	参照
演算用(M) C¥TDS¥EXTRCTDS¥TOTAL	参照
ОК	キャンセル

次頁で設定方法について説明しています

♦ 設定方法

Apex Oneのエージェント管理にて [リアルタイム検索設定]の [検索除外リスト(ディレクトリ)] でパスを 設定します。



[見積] Vの場合	[仕上] の場合	[外構] の場合	[躯体] の場合
c:¥tds¥estm5tds¥profile	c:¥tds¥dfsystds¥temp	c:¥tds¥extrctds¥temp	c:¥tds¥rcsystds¥temp
c:¥tds¥estm5tds¥temp	c:¥tds¥dfsystds¥total	c:¥tds¥extrctds¥total	c:¥tds¥rcsystds ¥total
c:¥tds¥estm5tds¥work	c:¥tds¥dfsystds¥work	c:¥tds¥extrctds¥work	c:¥tds¥rcsystds ¥work
[明細変換] の場合	[単価比較] の場合	[改修] の場合	
c:¥tds¥estmgate¥profile	c:¥tds¥subprice¥profile	c:¥tds¥rprwktds¥profile	
c:¥tds¥estmgate¥work	c:¥tds¥subprice¥temp	c:¥tds¥rprwktds¥total	
	c:¥tds¥subprice¥work	c:¥tds¥rprwktds¥work	

入力間違いがあると検索除外されませんので注意して下さい

ご迷惑おかけいたしますがよろしくお願いいたします。

Trend Micro ビジネスセキュリティをご利用のお客様

トレンドマイクロ社のビジネスセキュリティがインストールされているコンピュータで、TDSアプリの起動時や 編集中に以下のようなエラーが発生し正常に動作しない場合がございます。

画面			(必-
I7- X	1 7 -	X I7-	×
ReadDetast Error! Open() failed	CalcParentTo NodeNo not f	iotal() found! (in the second	Blockに失敗しました。 lo=3
ОК		ОК	OK

♦ 確認事項

まずTDSアプリの [**ファイル**] メニュー内 [**パス設定**] で以下の赤枠部分を確認して下さい。赤枠内に設定さ れているパスを検索除外のリストに登録します。画面にないアプリの場合も同様に確認して下さい。

● [見積] Exa

ス設定		
-データファイル用: データ(D):	7ォルダーー	
テキスト(T): 枠組み構成(F):	C¥Users¥watanabe¥Documents¥Userデータ C¥Users¥watanabe¥Documents¥Userデータ	
- 作業ファイル用フ:	ะ หม _{ี่} มี	
一時ファイル(E):	C:¥TDS¥ESTM4EXA¥TEMP	
作業データ(W):	C:¥TDS¥ESTM4EXA¥WORK	
-マスタファイル —		
コードマスタ(0):	C:¥TDS¥NSUNMAST¥DATA¥CODEMAST.CDM	
名称マスタ(N):	C:¥TDS¥NSUNMAST¥DATA¥NAMEMAST.NMM]
仕様マスタ(S):	C#TDS#NSUNMAST#DATA#SPECMAST.SCM	
単位マスタ(U):	C:¥TDS¥NSUNMAST¥DATA¥UNITMAST.MUT	
備考マスタ(0):	C:¥TDS¥NSUNMAST¥DATA¥NOTEMAST.NTM	
細目マスタ(M):	C#TDS¥NSUNMAST¥DATA¥DTASMAST.DTM	
	ОК	キャンヤル

● [見積] V

パス設定	ĸ
データファイル マスタファイル システムファイル	
システムパス(S) C¥TDS¥ESTM5TDS¥PROG	
作業ファイル用フォルダ(W) C:¥TDS¥ESTM5TDS¥WORK	
一時ファイル用フォルダ(T) C:¥TDS¥ESTM5TDS¥TEMP	
ОК * +у/±и	

◎ [仕上]

ファイノ	レのパス設定		×
7	"ータファイル	C¥TDS¥DFSYSTDS¥DATA 参照	
4 - -	'スタファイル →般用(L) 共有用(S)	C.¥TDS¥DFSYSTDS¥MAST 参照 参照	
- 8 F	1細変換ファ-	イル C*TDS*DFSYSTDS*TEXT	
	・時ファイルー	C¥TDS¥DFSYSTDS¥TEMP 参照	
—作 新 注	E業ファイル - 編集用(₩) 寅算用(M)	C¥TDS¥DFSYSTDS¥WORK 参照_ C¥TDS¥DFSYSTDS¥TOTAL 参照_	
		OK ++>セル	

◎ [外構]

ファイルのパス設定	×
データファイル	÷.077
C#TDS#EXTRCTDS#MAST	参照
ー 明細変換ファイル	参照
-作業ファイル	
編集用(W) C:¥TDS¥EXTRCTDS¥WORK	参照
演算用(M) C.¥TDS¥EXTRCTDS¥TOTAL	参照
ОК	キャンセル

次頁で設定方法について説明しています

♦ 設定方法

以下の画面にて設定を行います。

c:¥tds¥estm4exa¥temp

c:¥tds¥estm4exa¥work

 【検索除外リスト】の[リアルタイム検索/予約検索/手動検索]で +追加 をクリックして以下のフォル ダを登録して下さい。

▶ [見積] Exaの場合	▶ [見積] Vの場合
c:¥tds¥estm4exa¥profile	c:¥tds¥estm5tds¥p

c:¥tds¥estm5tds¥profile c:¥tds¥estm5tds¥temp c:¥tds¥estm5tds¥work TDSアプリの [パス設定] で確認した フォルダ以外に PROFILE も設定が必要です。

② [検索除外リスト]の [挙動監視] 「承認済みプログラムリスト」の +追加 をクリックして以下のファイ

ルを登録して下さい。

▶ [見積] Exaの場合

c:¥tds¥estm4exa¥prog¥estm4exa.exe

▶ [見積] Vの場合

c:¥tds¥estm5tds¥prog¥estm5exa.exe

<	ポリシーの設定: デバイス (初期設定) ×
 の ダッシュボード ① セキュリティエー… 会 ユーザ 図 ポリシー ひ レポート ご ログ (2) 管理 	ポリシーの設定: デバイス (初期設定) × ・ 対象とサービスの設定 検索除外リスト ⑦ ・ 対象とサービスの設定 ● 105 0 ⑦ ・ 検索除外リスト 第 第 105 0 ⑦ ・ 検索除水 ● ● 105 0 ⑦ ・ 検索除水 ●
	 ● アブリケーションコントロール ● アブリケーショントロール ● アブリケーショントロール ● アブリケーショントロール ● オジルスト ● 水ボイウェア/グレーウェア ● オジルスト <
	With With With With With With With With

入力間違いがあると検索除外されませんので注意して下さい